



Contents

- 年頭のあいさつ
- ボランティアセンター研修会
- 福祉出前講座
- マスク募集事業
- 身体障がい者福祉協会研修会
- 赤い羽根・歳末中間実績
- 社協寄付金報告
- 日赤献血功労団体表彰

..... 発行

社会福祉法人
別海町社会福祉協議会

〒086-0203

北海道野付郡別海町別海西本町36番地

TEL 0153-75-2148

FAX 0153-75-0457



社協ホームページ
QRコード

ふれあいネットワーク **別海町**

社協だより
2021年1月 No.134号 ふれあい

マスク募集事業への 御協力ありがとうございました

みなさまから集められたマスクの一部をボランティア団体の協力によって素敵なリメイクマスクに生まれ変わり、高齢者施設等へ配布させていただきました。

※詳細は5ページ

別海町社会福祉協議会では、 表紙の写真とコメントを募集しております

写真に人物が写っている場合は、ご本人の承諾を得たうえで投稿してください。(投稿者名はペンネームやイニシャルでも構いません)
投稿いただける方は、社会福祉協議会事務局までご連絡ください。
お待ちしております。

社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています



コロナ禍の今こそ隣近所にて予防対策 完璧にして

別海町社会福祉協議会 会長 山口長伸

コロナ禍の 子年過ぎ去り 初夢に 別海町の 丑が現れ
新年おめでとございます。

別海町の全てのご家族が、ご健康で、夢と希望に満ちあふれた令和3年になることを、謹んでお祈り申し上げます。

さて、今年は丑年。我が町の牛の数は、人口の7倍の約1万2千頭です。牛は別海の産業基盤となっている家畜ですが、しっかりと大地を踏み、何事にも動じない落ち着いた印象があります。そんな牛のように、しっかりと立ち着いて、この危機・コロナ禍を克服しましょう。

危機回避 自己防衛で 対処する 国や自治体 任せば 危険

人類は、このような危機を、歴史上、何回も経験しています。初めてのことが起こると、多くの犠牲者が出ますが、それを乗り越えてきた歴史があります。

100年前、「スペイン風邪」と呼ばれたインフルエンザでは、世界中で推計4500万人、日本では45

万人が死亡しました。最初の発症から治まるまでに、2年もかかりました。流行の鎮静化は、生き残った人に免疫抗体ができたからと言われていました。つまり、当時の国や自治体は、無策だったということです。正体不明のウイルスに打つ手はなかったのです。「公助」が当てにならないのは、今回のコロナ禍も同じなのです。

今は個々人が自分で判断し、予防し、行動を自粛し、粘り強く我慢していくしかないのです。

人間の 防疫・医療 あざ笑う 病魔ウイルス 世界を制覇

こういった非常事態のとき、人間はどういう心理状態になり、どんな行動をとるべきなのかと、2冊の本を読み返してみました。ノーベル文学賞作家アルベール・カミュの「ペスト」と、芥川賞作家開高健の「パニック」です。疫病の発生やネズミの大繁殖を題材にした作品ですが、結論を言えば、「起きてしまったことは、どうしようもない。責任の擦

り付け合いや犯人捜しは問題の解決にはならない。ただ一途に、人それぞれが自分の任務に、与えられたことに、誠心誠意取り組むしかない」ということなのです。

必ずや コロナ病毒 沈静の 来る日信じて 希望を捨てず

人類は、「スペイン風邪」を2年間かけて収束させました。

コロナ禍も、必ず沈静化させると信じます。その間、私たちは、冷静沈着な言動で、自分で出来ることに対処すべきです。

安心と 安全の町 別海は 隣近所の 助け合いから

「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」「備えあれば憂いなし」など、先人の残してくれた慣用句・ことわざ・言い伝えを、今こそ噛み締めるべきです。そんな支え合いや助け合い、「自助」から「共助」への福祉が全町に広がる一年になることを期待しています。

本年もよろしくお願い申し上げます

会長	山口長伸	副会長	加勢正司	理事	白田誠治	理事	菅田節子	理事	棚橋昌博	理事	中澤豊子	理事	羽石義男	常務理事	鈴木秋弘	監事	小椋ともよ	監事	島崎美智子	評議員	大月香	評議員	神部勝利	評議員	今野健一	評議員	佐藤富士雄	評議員	佐藤芳江	評議員	島田安信	評議員	清水浩光	評議員	戸田信広	評議員	橋本淳一	評議員	降旗和人	評議員	松倉穂子	評議員	水本節子	評議員	三原眞佐子	評議員	山田志保子
----	------	-----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	------	------	----	-------	----	-------	-----	-----	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	-------

ボランティアセンター 研修会を開催しました

別海町では現在、18種類に分別してごみを収集していますが、「ごみの分別種類が多くて、どのように分別していいかわからない」といった声が聞かれます。

ボランティア活動を行う中で、ごみを仕分ける機会には多々遭遇します。

そこで分別について正しい知識を



空き缶圧縮の様子と積み上げられた圧縮されたペットボトル

身につけ、それをボランティア活動の中で活かせるよう「別海町ごみ処理場」と「別海町リサイクルセンター」を訪問してごみの分別とリサイクルについて学びました。

種類ごとのポイント

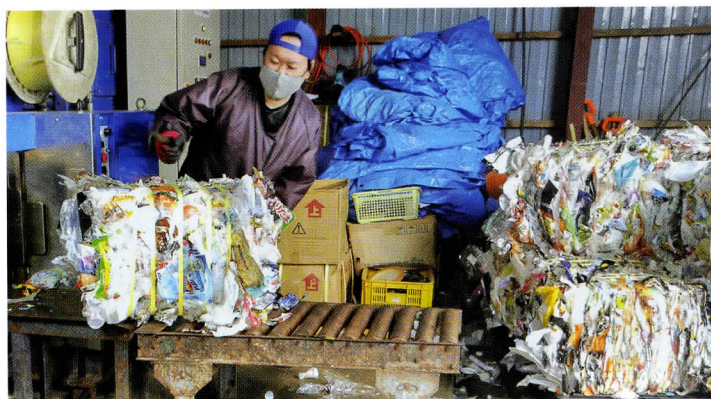
○もえないごみ

もえないごみは、作業員の手作業によって種類ごとに分別・分解しリサイクル業者に引き渡しています。埋立地に入れているのはごくわずかとなっており、作業員の努力によって、埋立地の寿命（満杯になるまで）を延ばしていることがわかりました。

○プラスチック製の容器包装

集められたものは袋から一度出され、手作業で対象でないものを取り除き、圧縮してからリサイクル業者に引き渡しています。

時には、注射針や電池などが入っていることがあるそうですので注意して排出するようにしましょう。分別に不明なことがあれば役場まで問合せましょう。



プラスチックごみ圧縮後

○紙類のごみ

分別の種類ごとに分けて保管され、リサイクル業者に引き渡しています。新聞に入っているチラシは新聞と一緒にかまいませんが、雑誌と雑誌は分けて出しましょう。

○びん

手作業で種類ごとに分けてリサイクル業者に引き渡しています。

再使用（そのままの形で使われる）リターナブルびんは、「コーラびん」などの種類ごとに綺麗に分けられています。

○かん

汚れがひどいものやたばこの吸い殻の入っているものは手作業で除かれ、機械でスチール製とアルミ製に分けられてから圧縮してリサイクル業者に引き渡しています。

最初からつぶれていると圧縮する時に噛み合わないののでつぶさずに出しましょう。



圧縮された空き缶

○ペットボトル

汚れがひどいものやゴミが入っている物を除いてから圧縮してリサイクル業者に引き渡しています。

キャップは必ず外しましょう。

また、ラベルについては、現状剥

がさなくても回収していますが、今後、ルール改正等で回収できなくなる可能性もあります。今から剥がすクセをつけてほしいとのことでした。

○その他

木くずや枯葉（落葉）、貝殻、油、衣類などもルールに従って排出すると、リサイクルすることができず、特に貝殻はもえるごみに入れると焼却施設の機械の破損につながる恐れがあるので、きちんと分別することが大切です。

貝殻は、牛舎で使う敷料や清掃用品に生まれ変わります。

リサイクルするという事は、ごみを燃やすためのコストを少なくするとともに、埋立地の寿命を延ばすことや自然環境の保護にもつながります。

ご家庭で実践出来ることに少しずつ取り組んでキレイな別海町にしていきましょう。



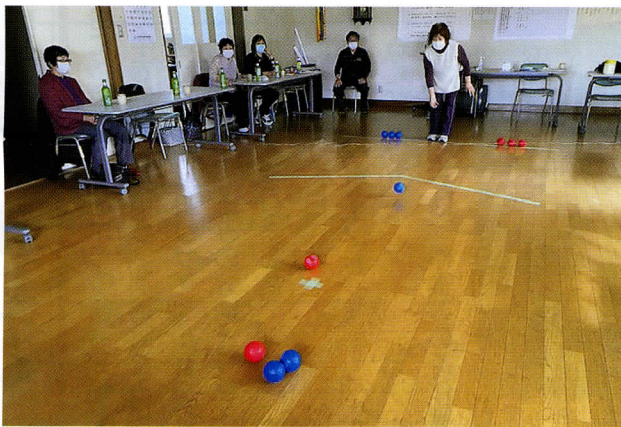
福祉出前講座を開催しました

①ポッチャ体験

11月9日、本別緑クラブ11名を対象に、福祉出前講座としてパラリンピック正式種目となっています「ポッチャ」の体験を行いました。

子供から高齢者、障がいの有無に関わらず、いろいろな人と交流しながら楽しめる競技です。

興味を持たれた方は、社会福祉協議会、地域福祉担当までご相談ください。



②ボランティアについて

12月3日、中春別中学校2年生11名を対象に「ボランティアについて

て」福祉出前講座を開催しました。

ボランティア活動の注意点などを説明し、町内で行われているボランティア活動を紹介した後、「中学生だからこそできるボランティア活動」を考えてもらいました。

やってみたいボランティア活動や、クラスや学校単位でできるボランティア活動を生徒の皆さんがアイデアを出しあうことで、中春別中学校生徒会として行うボランティア活動を考える機会となりました。

今後の活動に期待しています。



③手話・白杖・高齢者・車イス体験

12月9日、上春別小学校で実施し、コロナ禍で厳しい中「別海町手話の会」の皆様にもご協力いただきました。接触を伴う体験については、学校主体での実施となりましたが、児童の学ぶ機会を確保する先生方の情熱を感じました。

社会福祉協議会ではコロナウイルス感染予防対策をとりながら、できるかぎり地域の皆様の要望に応じた福祉出前講座を開催していますので、御希望される方は地域福祉担当までご相談ください。

リメイク布マスクを町内施設へ寄贈しました

8月より募集し、町民の皆様よりお寄せいただきました布マスクを、誰もが使いやすいサイズの立体マスクにリメイクし、町内のマスクを必要としている施設へ寄贈しました。

リメイクには、多くのボランティアの皆様にご協力いただき、総数471枚のマスクを作成していただきました。

寄贈したリメイクマスクは、寄贈先の方々に大変喜んでいただくことができました。

今回、マスクをお寄せいただきました町民の皆様、リメイクに御協力いただきましたボランティアの皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

マスク寄付（10月）

・尾岱沼花火実行委員会様



尾岱沼花火実行委員会 会長 藤村亮太 様
253枚のマスクを寄贈いただきました



デイサービスセンターひだまりへの寄贈



J A道東あさひ西春別ケアセンターへの寄贈

リメイク協力

- ・西別赤十字奉仕団様
- ・上西春別赤十字奉仕団様
- ・ボランティアサークル
サンキューの会様
- ・別海消防団女性消防団様
- マスク寄贈先

・デイサービスセンター
ひだまり様

・デイホーム笑楽様

・J A道東あさひ

西春別ケアセンター様

・グループホームすずらん様

・老人保健施設すこやか様

・育成会のえがお様

・ケアハウスみどり野様

・別海町児童デイサービス

センターにこっと様

・こども広場ひかり様

別海町身体障がい者福祉協会

会員研修会開催

身体障がい者福祉協会では、9月24日に共生社会の在り方を学ぶ

目的で会員研修会を開催しました。当日は、秋晴れの中、8名が施設見学に参加しました。

はじめに旧奥行臼駅通では、別海町教育委員会生涯学習課主幹

戸田博史氏を迎え、スクリーン説明と施設案内により、先人たちの功績が現在の別海町の発展に引き

継がれていることを学びました。つぎに、NPO法人スワンの家

では、今井真琴施設長より施設案内や通所している方の様子、作品

についての話を伺い、支援方法の在り方を学びました。

最後に隣接するふれあいの家力

フエ森のテラスも見学し、心温まる手作りの昼食をいただきました。

和気あいあいとした雰囲気の中で、会員の皆さんの会話も自然と

弾み笑みがこぼれていました。今回の研修を通して、私たちが

安心して暮らせる共生社会を築くためのヒントをいただき、自分を

振り返るための良い機会となりました。

振返るための良い機会となりました。

した。

身体障がい者福祉協会では、会員を募集しております。

ご興味のある方は、事務局（別海町社会福祉協議会内TEL：0153-75-2148）までお問合せ下さい。



令和2年度 赤い羽根共同募金中間報告

10月1日より実施いたしました「赤い羽根共同募金運動」では、町民の皆様、企業、学校、老人クラブ、



別海高校ボランティア局 佐藤さん

街頭募金など、たくさんの方の募金をお寄せいただき誠にありがとうございました。



別海中央中学校の皆さん

令和2年度 赤い羽根共同募金実績

2020年12月15日現在

実績額 3,491,107円
目標額 4,100,000円
達成率 85.15%

《内 訳》

募金種別	件数	金額(円)
戸別	2,335	1,800,442
街頭	3	37,637
法人	267	1,392,000
学校	10	48,222
イベント	0	0
募金箱	0	0
団体・その他	19	212,806
合計	2,634	3,491,107

令和2年度 地域歳末たすけあい募金実績

2020年12月18日現在

実績額 569,718円
目標額 800,000円
達成率 71.21%

《内 訳》

募金種別	件数	金額(円)
職域	4	466,958
団体・その他	8	102,760
合計	12	569,718

ました。

お寄せいただいた募金は、北海道共同募金会に納めた後、審査委員会を経て、令和3年度に福祉団体や施設等へ助成し、地域福祉の様々な事業に活用させていただきます。

また、12月1日より実施した歳末たすけあい運動では、職域・団体から多くの御協力をいただきました。

寄せられた歳末たすけあい募金により、「歳末見舞金」を町内の必要保護世帯16世帯、障がい者グループホーム、小規模作業所、児童デイサービス（就職）支援金」を8世帯へ届けることができました。

歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございました

(12月18日現在)

- ・西春別駅前郵便局様・別海季節労働組合様・別海町役場様
- ・根室北部消防事務組合別海消防署様・上春別小学校様・別海町民生委員児童委員協議会様
- ・西別赤十字奉仕団様・JA道東あさひ女性部べつかい支部様
- ・JAほほえみ会様・JA中春別女性部様・ボランティアサークルサンキユーの会様・別海手話の会様

赤い羽根共同募金 街頭募金を実施しました

共同募金運動の一環として、街頭募金活動を、別海市街と西春別駅前で行いました。

コロナ禍での活動となりましたが、たくさんの方の皆さまの厚意が集まりました。

御協力いただきました皆様、また、フクハラ別海店様、コープさっぽろべつかい店様、Aコープ西春別店様、別海町中央公民館様、ありがとうございました。



別海中央中学校生徒による募金活動



西別赤十字奉仕団による募金活動

募金奉仕団による募金活動



敬老祝品贈呈事業を 実施しました

社協では、昭和25年4月1日～昭和26年3月31日生まれの70歳になられる方256名に、各町内会の皆様のご協力のもと敬老祝品を贈呈しました。

本事業は町民の皆様の温かい御協力により、毎年実施している「赤い羽根共同募金」の助成を受け実施しております。

物品の寄贈 ありがとうございます ございます

寄贈いただいた物品については無償貸出、また、施設等へ配布するなど役立てさせていただきます。

○ポータブルトイレ

佐藤 隆昭 様（中西別）

福祉用具の貸出を 行っています

社会福祉協議会では、車いすや歩行器、介護用のベッド、行事用 TENT などを無償で貸出をしています。

また、パラリンピック公式種目の「ボッチャ」のセットや、高齢者疑似体験セットなどの貸出も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

収集ボランティアに ご協力いただき、 ありがとうございます

別海町ボランティアセンターで取り組んでいる収集活動に多くのご協力をいただきありがとうございます。寄せられたリングブルは、車イス等の福祉用具と交換し無償で貸出いたします。

○リングブル

上西春別幼稚園園児 様
外川かよこ 様

別海町役場 様

樋口 陽子 様

わたなべ商店 様

山内 千佳 様

株式会社 上田組 様

根室地区郵便局長婦人会

別海部会 様



株式会社 上田組 様

○古切手

本別海郵便局 様

○ペットボトルキャップ

根室地区郵便局長婦人会

別海部会 様

い寄付ありがとうございます

令和2年10月7日～令和2年12月18日

(敬称略)

10月1

松館 健一 (尾岱沼)

松原 清治 (中西別)

桐島裕美子 (別海常盤町)

高橋由美子 (泉川)

永野 正洋 (中春別)

河原 宣孝 (中標津町)

吉田 辰一 (西春別)

11月1

新濱 浩 (尾岱沼)

滝 秀子 (別海常盤町)

木嶋 豊年 (別海寿町)

小原 数宏 (長野県)

石本 朝美 (上春別)

コカ・コーラ社から福祉施設へ クリスマスプレゼント!

今年も北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様より飲料10ケースを寄贈いただき、町内の高齢者施設、高齢者や児童デイサービス施設、児童館、障がい者施設等へ届けました。



戸田 美江 (尾岱沼)

農事組合法人 ヤマギシズム

生活北海道別海実蹟地 (別海)

川島 功 (土別市)

藪田 寿雄 (上風連)

12月1

濱野 豊蔵 (中春別)

佐藤 秀子 (別海宮舞町)

松川 進 (上風連)

長谷川 充 (中西別)

大野 誠一 (中標津町)

相馬 儀彰 (別海旭町)

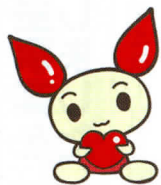
安田 洋子 (別海宮舞町)

株式会社アシスト (別海)

西別赤十字奉仕団 ストラップ寄贈

西別赤十字奉仕団では、反射材と手作りのキーホルダーが付いたストラップを毎年作成しており、今年は、やさしさと思いやりのある児童に育ってほしいとの願いを込め、別海保育園へ寄贈しました。





日本赤十字社では、永年にわたり
献血運動にご協力いただいた団体に
対し、感謝状と有功章（楯）を贈呈
しています。

この度、「株式会社福原 フクハ
ラ別海店」様が受賞されました。
おめでとうございます。

優秀学校
上春別小学校児童会 様

優秀地区・団体
東部新富地区会 様
新富中央地区会 様

日本赤十字社 献血功労団体表彰

北海道共同募金会 会長表彰

共同募金会では、永年にわたり共
同募金運動にご協力いただいた団体
に対し、表彰状及び記念品を贈呈し
ています。

この度、左記の3団体が受賞され
ました。

介護事業所より 本年も、皆様が住み慣れた地域で安心
して暮らすことが出来るよう、お手伝い
させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
介護に関わる相談、お困り事など、お気軽にご相談ください。

- ・居宅介護支援事業所
ケアサポートしゃきょう Tel 75-2400
- ・訪問介護事業所
- ・障がい福祉サービス事業所
- ・介護サポートセンターほほえみ Tel 75-0034
- ・訪問入浴介護事業所 Tel 75-2148

訪問介護事業所では、介護員を募集しております

- ・職 種 パート職員
- ・業務内容 介護員 訪問介護業務
- ・資 格 介護福祉士・2級ヘルパー・介護員初任者研修修了者のいずれ
かをお持ちで、普通自動車運転免許証のある方
- ・募集人員 若干名
- ・勤務時間・賃金 短期間雇用職員の就業等に関する細則による
詳しくはお問い合わせください
- ・勤務場所 別海町社会福祉協議会 訪問介護事業所
- ・提出書類 履歴書（写真添付）・資格証明書（写し）を提出してください
（履歴書の返却は出来ませんのでご了承ください）
- ・募集期間 随時募集しております
- ・書類提出・問合先 別海町別海西本町36番地 別海町社会福祉協議会
Tel 0153-75-2148
（土・日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで）
※面接等につきましては書類提出後こちらからご連絡いたします

新型コロナウイルス感染症の影響 による生活費にお困りの 方へ、特例貸付受付期間 を3月末まで延長

特例の緊急小口資金と総合支
援資金の受付期間を令和3年3
月末まで延長します。

ただし、緊急小口資金の貸付
は、1世帯1回限りです。

総合支援資金の特例貸付の3
か月を超える延長申請は、3月
末までに初回申請をした者に対
象を拡大します。

※総合支援金は、「償還開始ま
でに自立支援相談機関からの支
援を受けること」に同意するこ
とが前提となります。

令和3年4月以降は通常の貸
付対応となります。

なお、「償還時において、な
お所得の減少が続く住民税非課
税世帯」の償還を免除すること
ができることとしています。

令和3年4月以降は通常の貸
付対応となります。

■詳しくは、社協だより5月
号・7月号・ホームページをご
覧ください

■相談・問合せ

別海町社会福祉協議会
Tel 0153-75-2148

社協会費の 御協力について

令和2年5月1日よりお願いして
おります、「社会福祉協議会会員会
費」並びに「賛助会費」につきまし
て町民の皆様と各企業の皆様より多
くのご賛同をいただきありがとうございます。

社会福祉協議会では引き続き、会
員会費の納入を受けつけております。
納入がお済みでない町内会はお近く
の役場支所・連絡事務所でも受け付
けておりますので協力お願い申し
上げます。

あとがき

新型コロナウイルス感染症の
感染者が始めて早一年、結局
年内には終息しませんでした。が、
令和3年こそ終息を迎え、コロ
ナ流行以前の生活に戻れること
を期待しております。

終息した暁には、どこかへ旅
行に行ったり、テーマパークに
遊びに行ったり楽しいことを沢
山したいですね。

それまでは感染対策を怠らず、
出来ることに全力で取り組んで
いきたいと思います。さあ、新しい年
の幕開けです！